

日興リカ株式会社

[本社]〒101-0043 東京都千代田区神田富山町10-2 [電話]03-5209-9870  
 [URL]http://www.nikko-rica.co.jp [設立]1950年 [代表取締役社長]永橋 隆雄  
 [従業員数]130名 [事業内容]水素化触媒、水素化反応、機能性材料等の開発・販売



日興リカ株式会社 代表取締役社長  
永橋 隆雄氏

# 化学のさまざまなニーズに対応した 新素材研究・開発のバイオニアとして躍進

水素化触媒、水素化反応、機能性材料など時代が求める化学を開発・研究し、製品化してきた日興リカ株式会社。歴史ある新素材化学メーカーの事業展開について、代表取締役社長 永橋隆雄氏が語った。

## あらゆる産業分野で 高い技術力が評価

医薬品・化粧品・食品基材、農薬中間体、機能性高分子材料など、さまざまな化学工業製品の基材や原料を作るのに欠かすことのできない水素化触媒を中心とした技術で、あらゆる産業分野を化学の面から支え続けてきたのが日興リカ株式会社だ。創業60周年を迎える同

社が産業界に果たしてきた功績は大きい。「当社が創業以来一貫して、こたわってきたのは、水素化触媒に関する技術です。有機・無機化合物を問わず、あらゆる化学物質の触媒技術を通じて、新素材のバイオニアとしての役割を務めて参りました」(永橋氏)

同社は食品、化粧品、医薬品からマルチメディアでの電子材料まで、幅広い分野のニーズに応え、化学メーカーとして、産業の発展と豊かな生活に貢献してきた。

よって高品質のワセリン『サンホワイト』を開発しました。さまざまな化粧品に使われ、高い評価をいただいています」(永橋氏)

今年5月に開催された第5回化粧品産業技術展(CITE Japan 2011)では、同社独自技術で開発された『金平糖状のシリコンパウダー(MSP)』を発表。女性の悩みである『シミシワ』を隠す効果があり、化粧品業界から注目と期待を集めている。

## 社員をヤル気にさせる 企業体制の改革を実践

もともと化学の研究者として技術力の重要性を認識しつつ、これを営業面から押し上げて同社の発展を支えてきた永橋氏が社長に就任したのはおよそ10年前。長きにわたる社歴によって築いた基盤に満足することなく、より一層の飛躍を現実のものとした背景には同氏の果たした企業改革の成果が大きく表れている。

「企業は社員の手で成り立っている部分が大きく、トップである社長だけがいくら頑張っても事業の発展には結びつきません」(永橋氏)

そこで同氏が目指したのは「口だけではなく、社員に對して約束したことを実行する企業」だ。社員に経常利益を明らかにするとともに、毎年、年間の目標額を設定。これを上回ったら1/3を社員に還元するという施策を明言した。

「実現可能な目標や目的を持ってそれぞれの社員が力を発揮することで、企業全体の『ヤル気』が高まり、これが高い業績につながります」(永橋氏)

また、全社員のコミュニケーションを高め、自社株を持つ社員が多い同社はその配当も高めた。これからの時代に必要となるべき確かな把握し、精神的な社員による新技術の開発は今後の産業界にも大きな功績を築いていくことだろう。



企画/矢動丸プロジェクト

全ての選択には、フィクションに勝るドラマがある。

<http://kenja.jp/>

全国放送



毎週日曜/朝10:00~10:55

7/3(日)放送



毎週日曜/昼12:00~12:55

兵庫・大阪 7/4(月)放送



毎週月曜/夜10:00~10:55

PR